

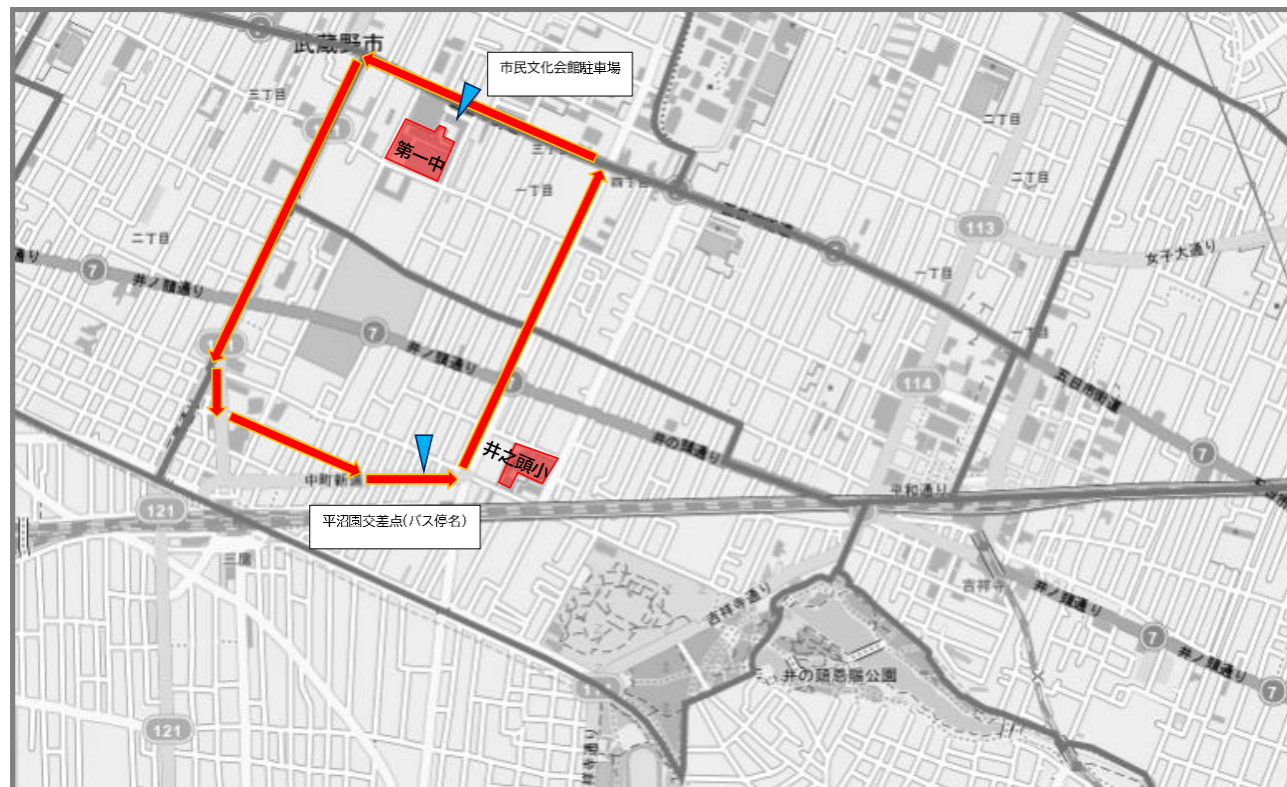
井之頭小学校改築に伴う通学手段検討のためのアンケート結果

(1) アンケート実施の背景と目的

井之頭小学校は、改築工事期間中(令和7年4月～令和10年3月)第一中学校の校地内に設置した仮設校舎に移転するため、昨年度より児童の安全な通学手段の検討を行っています。

このアンケートは今後の検討の参考として、実際の小学生の保護者の意向をうかがうために実施しました。

【井之頭小学校運行ルート(案)】



【運行ルート設定の前提】

- ・多くの児童が乗車できる路線バスタイプのバスを使用する。(希望者全員に対応する場合、マイクロバスでは台数が不足する可能性が高い)
- ・大型バスが複数台一定時間停車できる場所であること。
- ・数十人の児童がまとまって待機できる安全な待機場所であること。
- ・登下校時間の交通渋滞の恐れが少ないこと。
- ・ムーバスはコミュニティバスのため、団体としての通学手段(特定時間のバスに多くの児童が乗り込む)に利用できない。

(2) アンケート方法

対象: 令和4年7月現在、井之頭小学校に通っている児童の保護者

期間: 令和4年7月14日(木)～令和4年7月31日(日)

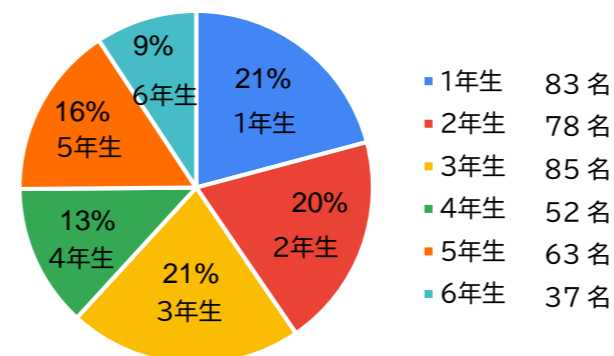
方法: 緊急メールで保護者宛にリンクを送信し、Google フォームから回答。兄弟姉妹がいる場合は、お子様一人につき一回ずつ回答。

(3) 集計結果

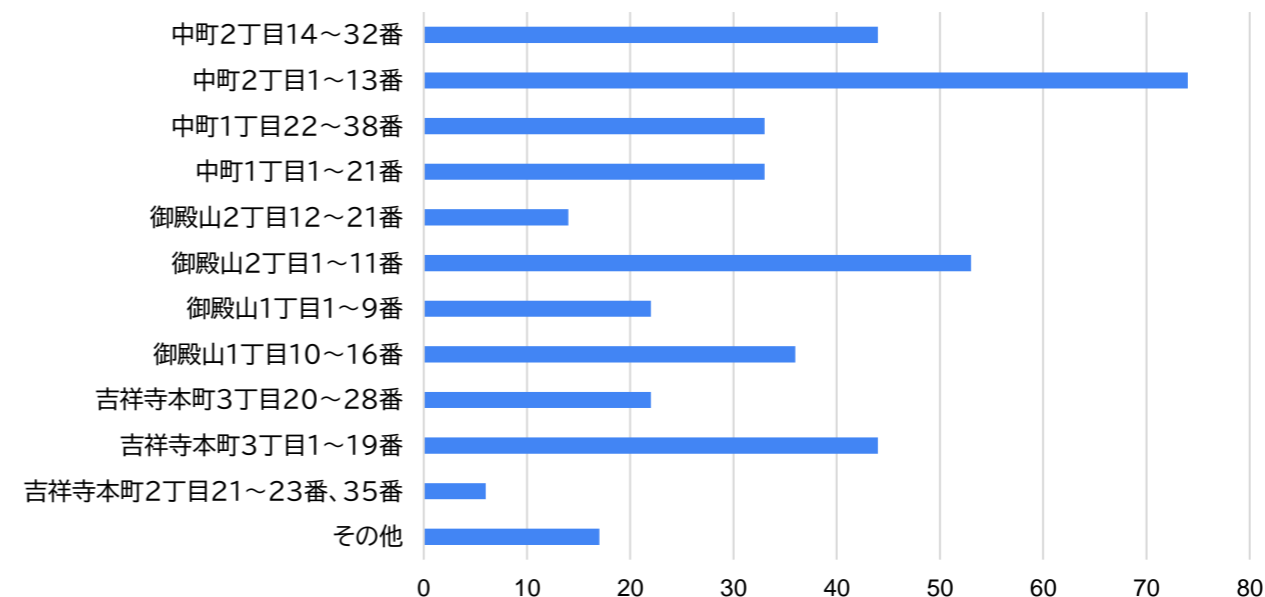
回答者数: 398名/605名(全校児童)

回答率: 66%

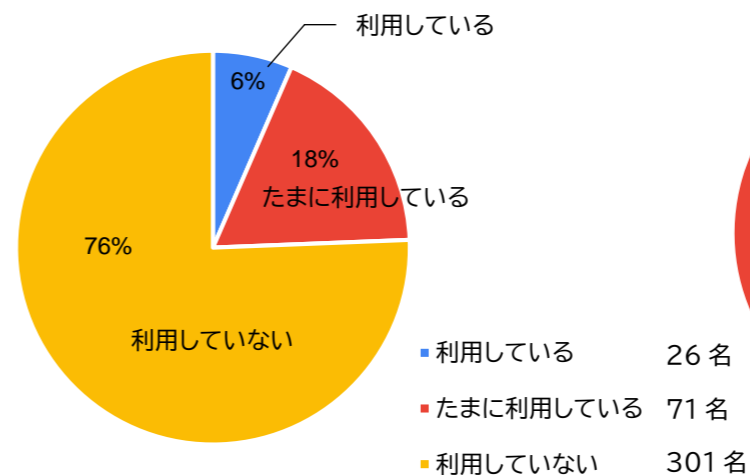
Q1 お子様は現在何年生ですか？



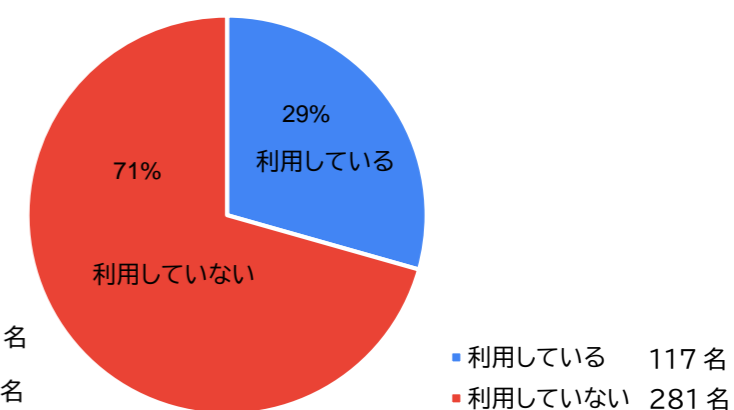
Q2 現在のご住所を教えてください。



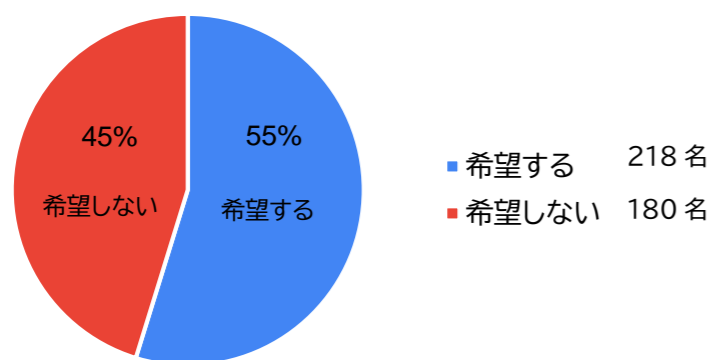
Q3 現在、お子様は「早朝あそべえ」を利用していますか？



Q4 現在、お子様は「井之頭子どもクラブ」を利用していますか？

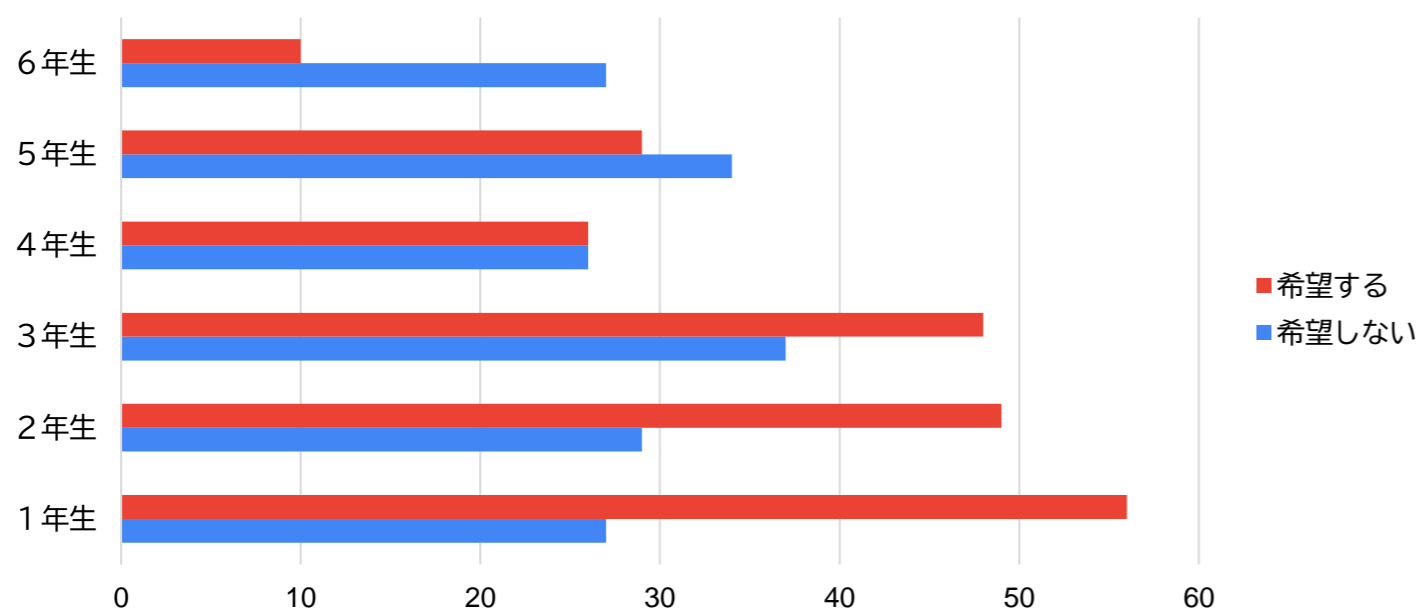


Q5 令和4年7月現在、お子様が第一中学校の校地内に建設した仮設校舎に通学すると仮定した場合、運行案でスクールバス通学を希望しますか。

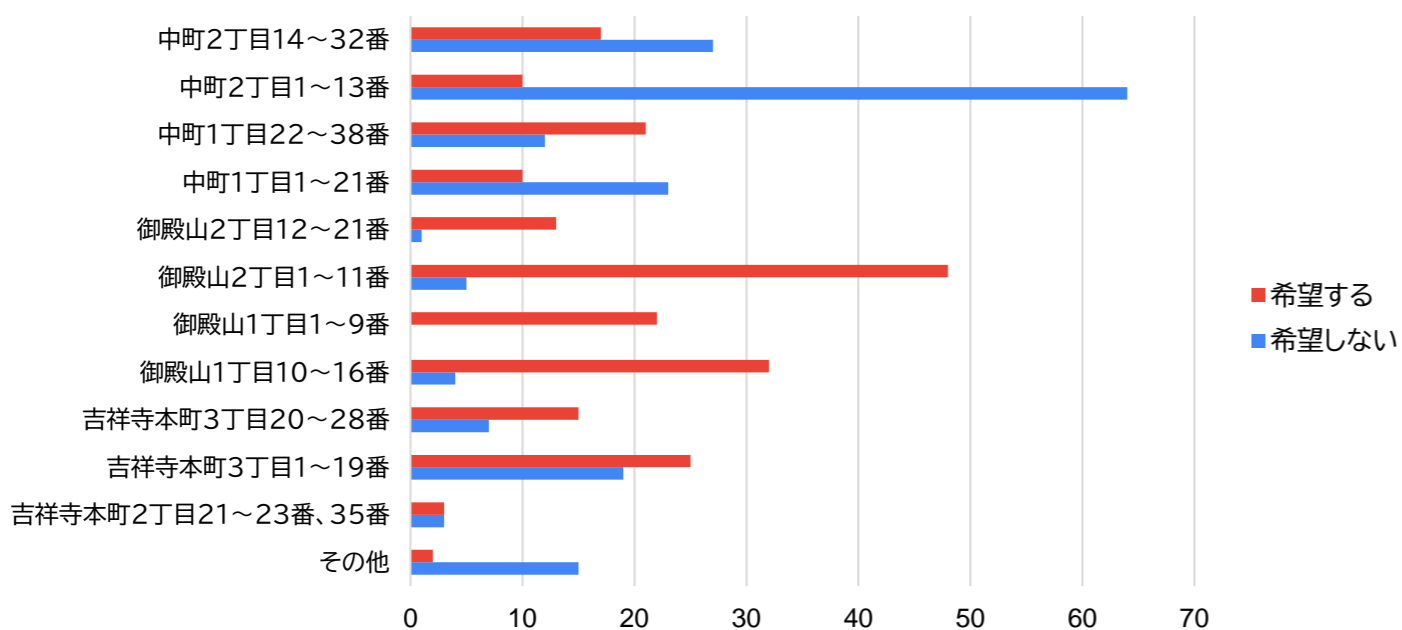


スクールバス希望者は全体の55%

学年別乗車希望調査結果



住所別の乗車希望調査結果



Q6 スクールバスを希望する理由と希望しない理由(抜粋)

希望する理由	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩で通うには遠すぎるため。 ・持ち物も毎日とても重いので身体的負担がかかり過ぎると思うため。 ・公共のバスの使用許可、及び、学生証がない為バスの学生定期の購入ができないため。 ・徒歩だと、習い事に間に合わないケースが想定されるため。 ・通学途中、信号、交通量が多いため。 ・本人の希望。
希望しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停に行くより一中に行く方が近いから。(バス停が遠いため。) ・運動のため。 ・車酔いをするため。 ・本数が少ないなら乗れない可能性が高いため。 ・バス登校だと早い時間になるため。

Q7 その他ご意見(抜粋)

- ・バスの乗降場所をもっと増やしてもらえると使いやすい。
- ・運行路は、図のルートを中心に、他に吉祥寺本町付近、また御殿山は御殿山で専用ルートがあっても良いかと思います。
- ・防犯上、バスの乗り降りの際にも、必ず見守りの先生を付けて頂きたいです。
- ・ランドセルの中身を減らして、なるべく軽い荷物で通えたらと思います。
- ・希望者全員をスクールバスに乗せていただきたいです。
- ・遠くなることから保護者による送迎を認めてもらいたい。
- ・公共のバスを使いたいです。
- ・一中の仮設校舎入り口についてですが、大正通り沿いの校庭側からも入れるようになったらいいなと思っています。
- ・バスに乗る日と乗らない日とあったり、自由に選択出来るとありがたいです。
- ・児童が着席できる分のバスの便数をお願いしたいです。
- ・もし高学年でもバスを利用できる場合、何度か乗車してみて利用を決定できるとありがたいです。

(4)アンケート結果まとめ

学年別のスクールバス乗車希望者の割合をみると、低学年の方が高学年に比べてスクールバス乗車希望の割合が高いということが言えるが、高学年にも一定のニーズがあることがわかった。

住所別のスクールバス乗車希望者の割合をみると、特に御殿山地域に在住の児童にスクールバス希望者が多かった。また、御殿山地域にもバス停を設置してほしいという意見が多くあった。

その他の意見では、バス停を増設してほしい、全学年対象としてほしい、遅い時間もバスを運行してほしい、交差点に見守りを設置してほしいという意見が多くあった。

(5)今後の課題

- ・今回のアンケートで提示した運行案のほか、学区内東部に在住の児童が利用しやすい運行ルート、バス停の設置等について検討する。
- ・バス停及び通学路の見守りについては、学校と相談し、場所・人数について検討を進める。